

神奈川県作業療法士会ニュース

神奈川県作業療法士会ニュース158号 目次

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1 巻頭言 | 6 各部からのお知らせ |
| 2 広報部対外広報班活動報告
福利部からのお知らせ | 7 理事会報告 |
| 4 OTのためのIT講座 (第16回) | 8 求人広告・講習会案内 |
| | 10 青年海外協力隊体験記 (第11回) |

巻頭言

「作業療法の成果 ～第14回県士会学会の企画について～」

第14回神奈川県士会学会プログラム企画委員 牛木彩子 (国際医療福祉大学)



第14回県士会学会の企画プログラムは、臨床経験1～10年未満の若い会員の増加をうけ、ベテラン(パイオニア)の臨床を直接垣間見るような話を聞いてみようという企画になっています。9月末、国際機器展を見に行き、そこでOTの先輩たちがした仕事の歴史と成果について考えたことをこの場に書かせていただきます。

国際福祉機器展を初めて訪れてから20年たつ。最初の勤務先では毎日のように自助具を作り、先輩OTが患者の初回面接の翌日には、あっという間にカフつきスプーンなど自助具を作り、患者の食事を自立させてしまうことに目を丸くした。訓練用具までも手作りで、ボール盤、電動糸のこ。毎日誰かがその前にいた。PTも時々杖を切りにOT室を訪れた。現在、そのころOTが作っていた自助具や訓練用具は製品化され、予算さえ許せば買うことができる。写真は今や製品化されている上肢用の手回しサイクルである。古い自転車をひっくり返し、木枠を組み立てて取り付けてある(ここ数年で2台作り足したとのこと)。二つ目の勤務先で、私は、在宅を訪問し福祉用具や住宅改修のアドバイスをした。国際福祉機器展に初めて行ったのはこのころである。在宅で使いやすい機器を探すのに必死だった。シャワーチェアなど今でこそコンパクトなサイズのもの主流だが、そのころは浴室に入れると立つスペースも無くなるほどの大きなものばかり。訪問に行くと、「病院で勧められて買ったけど、これは大きすぎて使えない」と埃をかぶっていることもあった。小サイズで安定性のあるシャワーチェアを探して会場を動き回った。スロープときたら、重くてとても介助者が出し入れできるものではなく、70歳のAさんの奥さんはこれを持ち上げられるだろうかなどと考へながら、会場中のスロープを持ち上げて歩いた。既製品がなければ、地元の大工さんが頼りだった。洗い場から浴槽の上まで渡すバスボードとベンチの

兼ねたものが欲しいなどご家族と話していたその数日後には、近所の大工さんが端材で組み立てていた。風呂場のすのこも檜で大工さんに作ってもらった。いまや全部商品化されている。そのころ私が猛烈に欲しかったADLのシュミレーションセットも商品化された。大げさにいえば皆OTが考えていたのである。OTが作っていた自助具や福祉用具が商品化改良されているのは、その使用経験のフィードバックが道具を利用する人とOTでされてきたからである。それこそ、OTの成果である。障害は治るのに時間がかかる。治らないものもある。「治らない」けれども生活が出来るようにOTが介入する。その介入は患者にとってはわかり難い。なぜなら患者は「治してほしい」と思って、リハビリテーション室に来室するからである。その気持ちと、どう向き合って生活を組み立てていく介入をしてきたのか、成果を上げてきた先輩OTに聞いてみたい。そして、今年の福祉機器展は、ハイテク機器が多く上に描いたようなADL関連で目新しいものはあまりない。自助具類も少なかった。でもまだ、出来ること(OTが提案できること)があるのではないかとと思うのである。





広報部 対外 広報班

活動報告

広報部対外広報班が一般県民を対象に活発に啓蒙活動を展開しているをご存知ですか？対外広報班のメンバーは、例えば医療系の学校進学を目指す学生に作業療法士の仕事や養成校の紹介をしたり、一般県民や障害がある方や家族に作業療法士の提供するサービス内容を紹介したりしています。それらの中から、対外広報班が今年度実施したいくつかの活動をご紹介します。

学生を対象とした企画「夏期合同入試ガイダンス」

平成24年7月19日新宿セミナー横浜校にて、夏期合同入試ガイダンスにブース出展参加しました。県内の大学や専門学校の入試担当者と共に、看護医療系を目指す学生や家族に向けて個別相談を行いました。県士会のブースには高校生や社会人経験者など様々な方が相談に訪れ、「理学療法士と作業療法士の違いを知りたい」「作業療法士の仕事内容について詳しく聞きたい」といった質問や相談に対応しました。

県士会ブースに相談に来てくださった方の多くは、作業療法士を目指している方や、作業療法について更に知りたいという方であり、作業療法の幅広い分野について知識を伝える機会となりました。広報部では今後とも作業療法への理解を深めると共

に、作業療法士を目指す意欲のある学生が増えるよう活動を行っていきます。(文責 増田)



新宿セミナーの様子

学生を対象とした新企画「作業療法ガイダンス」

平成24年8月21日かながわ労働プラザにて、神奈川県下の進路指導教諭や高校生・保護者を対象とした『作業療法ガイダンス』を開催しました。ガイダンスでは、OTの臨床現場や仕事内容の紹介、養成校での教育プログラムの例の紹介を通して、具体的な情報を伝える内容としました。当日は高校生や進路指導教諭など、計14名の出席があり、出席し

た高校生からは『具体的な仕事内容が聞けて、作業療法士を目指したい気持ちが強くなった』との意見を多く頂き、有意義な情報伝達の機会となったようです。また教諭からは開催時期や公示方法のご意見も頂き、継続的な開催に向けて参考となる意見も頂くことができました。

本企画は今年度からの新企画であり、対外広報班あがて県内の高校100校余りに電話やFAXで案内を行うなど試行錯誤しながら開催に至りました。手応えとして、OTについて知りたいと思っている高校の教師や高校生はまだまだいるのではないかと感じています。今後、公示方法をより効果的で興味を引き付けるものに工夫していくことで、更に作業療法の社会的認知度の向上につながるのではないかと感じました。これからも《正確な情報》を、《適切な対象》に、《効果的な方法》で伝えていくことができるよう、活動していきたいと思ひます。

(文責 青木)



作業療法ガイダンスの様子

一般県民を対象とした企画「ヨッテク」

平成24年7月27日・28日の2日間、『ヨコハマヒューマンテクノランド（YOTEC・ヨッテク）』がパシフィコ横浜で開催され、ブース出展参加しました。当日は約15000人の来場者となり、県士会ブースでは、パンフレットの配布・革細工の体験を行いました。2日間ですごくたくさんの方が来てくださり、OTに関して様々なご質問やご相談が寄せられました。革細工体験に興味をもって来る方も多く、作業を通してOTを知って頂く



きっかけ作りにもなったと思います。また、中には参加した筆者自身が普段あまりお話する機会が少ない医療職の方々も来場されており、貴重な情報交換の場にもなりました。

（文責 久保田）



神奈川県作業療法士会による体験型ブースの様子

福利部からのお知らせ

第6回職場見学会 突撃！となりのOT室

今回の職場見学会は、発達障害領域の作業療法士としてご活躍されている、神奈川県立こども医療センターの原 伸一先生に講師をして頂きます。

職場見学会の主旨は、

- ・一人職場で周りに相談できる先輩があまりいない
- ・普段他のOTさんはどんな環境でどんな治療をしているのだろう

など、臨床において様々な疑問や悩みを持っている方が多いと思います。

職場見学会を通して、ご活躍されているOTの先生方に悩みや疑問を相談する機会と、その職場ではどのような訓練等を行っているのか、意見交換や情報共有の場を設けたいと考えています。この機会には是非ご参加ください。

開催日時：平成24年12月7日(金)19：00～20：00

※講習会終了後、懇親会を企画しております。気軽に交流できますよう配慮いたしますので、是非ご参加ください。

会場：神奈川県立こども医療センター

定員：20名

受講料：無料

受講資格：神奈川県OT士会員で今年度会費納入済みの方、他都道府県OT士会員等

※神奈川県在勤のOTで、神奈川県作業療法士会未入

会または今年度会費未納の方は、受講できません。

申込期間：平成24年11月23日まで

※期間外の申込は受付できません。

※応募者多数の場合、先着、神奈川県OT士会員を優先し選考いたします。

生涯教育ポイント付与について：(社)日本作業療法士協会の方は、受講により2ポイントが付与されます。

申込方法：

1) E-mail（携帯メール不可）にて神奈川県OT士会事務局研修会担当（ken-ot@kana-ot.jp）までお申し込みください。

2) E-mailは題名を「第6回職場見学会 突撃！となりのOT室 受講希望」とし、本文に①受講希望講習会名及び開催日、②氏名、③所属、④都道府県士会名、⑤日本作業療法士協会会員の場合は会員番号、⑥連絡先電話番号、⑦返信用E-mailアドレス（携帯メール不可）を必ずご記載ください。記載内容に不備があった場合、受け付けられません。

3) 神奈川県在勤のOTの方は、申込2週間前までに必ず今年度士会費を納入してください。納入確認に2週間程度必要となります。納入状況をお忘れの場合は、士会事務局（TEL045-663-5997）にお問い合わせください。

4) 申込のE-mailは1人1通までとします。

本講習会担当：福利部 富山

OTのためのIT講座

第16回 OTのための情報セキュリティ(4)



講師
石川 敢也さん



松本 早いもので、情報セキュリティのお話も4回目ですね。いよいよ今回は対策編でしたよね？



石川 そうですね。まあ、それはそうなんですけど……。



松本 あれ？どうしたんですか？



石川 それがですね。ここでセキュリティの話をしている間に、従来のような記事へのリクエストが幾つかありまして。



松本 あ〜、それなら私も把握してます。「パワーポイントの発表者ツールについて」とか「OTのためのiPad講座」といったリクエストは放置したままですね。



石川 そうなんですよ。そういうわけで、無駄話はこのくらいにして(笑)、情報セキュリティの総まとめとして、今回で完結できるように「情報セキュリティ対策基準」について、さっそくお話ししましょう。



松本 はい。で、その情報セキュリティ対策基準ってのは、なんですか？



石川 大雑把に言うと、**情報機器を扱うためのガイドライン**ですね。



松本 前のお話に出てきた「情報セキュリティポリシー」と似てるものですか？



石川 情報セキュリティポリシーは、情報セキュリティに関して組織としての方針や行動指針を宣言するもので、例えば「保有する情報資産を適正に管理運用するため、情報セキュリティ管理体制の維持に努めます」といった内容を、代表者の名前で公開するものですね。



松本 なるほど。企業のホームページの隅っこにありますね。クリックしてみたことはありませんけど。(笑)



石川 多くのOTの皆さんの職場のサイトにも載っていると思いますよ。



松本 でも、よく分からないのですが、それは「プライバシーポリシー」とは違うのですか？



石川 正しく言えば、個人情報なども含んだ情報の保護という目的の情報セキュリティポリシーと、個人情報の取り扱い方針を主とするプライバシーポリシーは別のものでね。



松本 う〜ん、言われてみればそうなのでしょうけど、素人には違いがはっきりしません。



石川 そうかもしれませんね。医療の施設に行くと私もOTさんとPTさんの区別がつかない場面がありますから。(笑) それはともかく、情報セキュリティポリシーもプライバシーポリシーも、実際には同じような意味で使っている場合も多いですね。



松本 違うけど似ているというのは、**情報セキュリティの対策がしっかりしていないと、個人のプライバシーも守れない**という考えで合っていますか？



石川 その通りです！では話を「情報セキュリティ対策基準」に戻しましょう。



松本 だんだん分かってきましたよ。細かいことはともかく、対策基準っていうのは、ポリシーを実現するためのガイドラインってことですね。



石川 松本さん、今日は、いや、今日も冴えてますね！分類の仕方にも依りますが、ポリシー、対策基準、対策手順という構成で呼び分けていますね。



松本 なるほど。だんだんに具体的というか、決まり事が細かくなっていくわけですね。



石川 そうですね。方針（ポリシー）と対策基準（スタンダード）を情報セキュリティポリシーと呼んだり、対策手順（プロシージャ）と区別したりしていますが、それよりも内容を把握していただきたいですね。



松本 そうですね。対策基準はどんな内容になるんですか？



石川 **対策基準の構成は、サーバやクライアント、ネットワークに関すること、物理的な対策と運用、その他に監査や委託契約に関する事などが標準的な内容**になっていますね。



松本 なるほど～。網羅しなきゃならないのは分かるのですが、ちょっとハードルが高すぎます。



石川 そんな松本さんのために、総務省が「情報セキュリティ対策基準の例文」を考えてくれて、インターネットで公開しています。(笑)



松本 そうなんですね。まあ、私が職場の対策を考えるわけじゃないんですけどね。(笑)



石川 まあ、そうした雛形を参考にしながら、**自分の組織にふさわしくて、効果のある対策を考える**わけです。



松本 誰が読んでも分かりやすい表現も大事ですね。



石川 そういことです。個々の現場に合わせたものを準備することが大切です。



松本 **どんな情報が重要になるかということも、それぞれ違う**でしょうからね。



石川 そうですね。政府機関を例に挙げると、内閣官房情報セキュリティセンターが「政府機関統一基準適用個別マニュアル群」というものを作って、例えば「スマートフォン・タブレット端末の使用手順 雛形」なんていう文書も公開しています。



松本 「電子メール使用時の遵守事項」やら「盗み見等に対する対策」まで考えられて、こうして文書にしているとは驚きました。ちょっと量が多くて読破できる自信はありませんけど。(笑)



石川 いやいや、そういう仕組みで情報セキュリティが守られているんだってことを、知っておいてくれれば、この連載としては大丈夫ですよ。



松本 いやあ、ありがとうございました。おかげで情報セキュリティのなんたるかを完全に理解できました！



石川 いや、そこまでは。(笑) とりあえず、セキュリティの話はこれくらいにして、次回は、その日から役に立つ記事に戻しましょうか。



松本 それもいいですね～。楽しみにしてまっす！

各部からの報告

地域リハビリテーション部

◎《今年度の研修会案内》

- ①訪問リハビリテーション地域研修会基礎コース（日本訪問リハビリテーション協会との共催）12月1、2日

予定・未定のは決定次第、ウェブサイトに掲載いたします。
今年度も多くの会員の参加をお待ちしております。

◎《訪問リハ実施施設の掲載》

既にご存じの方も多いと思いますが、県士会ウェブサイト「地域リハの“わ・輪・和”」というコンテンツを掲載しています。

その中に“訪問作業療法実施施設”をみなさまの協力のもと掲載いたしております。

今年度は更に作業療法士の所属施設のみではなく、理学療法士や言語聴覚士の所属施設も掲載いたします。

神奈川県民への有益な情報源ですので、未だ掲載していない事業所の方々には是非ともご協力をお願い申し上げます。

（地域リハビリテーション部 木村）

教育部

◎連載！

県士会ウェブサイトから質問ができます！

「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」

「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」は、生涯教育制度関連の情報を毎号少しづつお伝えしています。

今年度初回の現職者共通研修が9月、10月に開催されました。国家試験合格者に比べて少なめな参加者でした。開催案内が届かない方がいたのではないかと心配しています。協会の生涯教育制度は、認められる専門職、作業療法士の職域拡大、ひいては作業療法士の社会的価値につながるものです。

後輩をもつ作業療法士は情報の提供と、お薦めをお願いします。知らない、知らされていないということほど寂しいことはありませんから。

今後は以下の研修会が開催されます。

1. **現職者選択研修**：領域別（身体・老年期・精神・発達の4障害領域）の研修で、生涯教育制度の必須基礎研修で、2領域を選択受講します。一領域：90分×4コマの受講が必要です。「この先生の話聴きたい！」というコマ単位での受講も可能です。ただし本研修を受講修了したとは認められません。

*今年度は、身体障害領域、老年期障害領域を開催します。詳細は今号チラシ、県士会ウェブサイトをご覧ください。

- ・身体障害領域 2015年2月3日(日) ウイリング横浜
- ・老年期障害領域 2015年2月10日(日) ウイリング横浜

2. **現職者共通研修「事例検討」と「事例報告」**：先月号ニュースでご案内しました。県士会ウェブサイトにも掲載しています。ぜひ申し込みを！生涯教育制度に関して何でもご連絡ください。県士会ウェブサイトからもご質問ができます。
教育部 奥原孝幸（昭和大学） 045-985-6500（代）、
kyoiku@kana-ot.jp

ウェブサイト管理委員会

◎県士会サイト・マイナーバージョンアップ！

よこ太：県士会サイトのホーム（トップ）ページって何かが変わった気がするんだけど…

ハマ子：そっか、道理で患者さんの日々の変化にも気づけないわけだ。

よこ太：ハマ子の変化には敏感なんだけどね！へへっ

ハマ子：ホーム（トップ）ページだけじゃなくもっと大きな変化もあったよ。

よこ太：あ！ウェブ管の委員長が替わったとか？

ハマ子：替わってないでしょ。3段組から2段組になったのよ。具体的には右側のサイドバーが2段から1段になって、記事が表示されるゾーンの幅が広がったんだよー

よこ太：あーだから読みやすくなった気がするんだ！

ハマ子：ただ、全部のコンテンツじゃなくて、本体部分だけ。「お知らせ」とか「手続き」関連のページとか。

よこ太：他のも変えちゃえばいいのになー

ハマ子：あとは多くの方が、気がついていると思うけど、ホーム（トップ）ページのメイン情報が講習会の一覧じゃなくなったね。各コンテンツへのリンクがパネル式で並んでいるでしょ。

よこ太：なんかパネルが無駄に大きい気がするけど。

ハマ子：いやいやこの大きさがね、スマホで見た時になかなか良いのよ。スマホユーザーの皆さんはぜひ試してみてください！

（文責：ウェブサイト管理委員会 作田）

平成24年9月アクセスランキング

- 1位 講習会・研修会 21629件
- 2位 作業療法Tips & PDF 20905件
- 3位 求人情報掲載板 9871件
- 4位 必見！OTのすぐ技・アイデア集 9057件
- 5位 再学習☆応援講座 3656件

平成24年9月県士会ブログランキング

- 1位 Hideki Tanaka's Blog 562件
- 2位 ウェブ管的知恵袋 388件
- 3位 ALS支援ブログ@KAOT 205件

更新件数：53件 訪問者延べ数：18112人
Kanaからの手紙発行回数：27回 登録者：167名
Twitter (ID:kaotwebkan)：フォロアー205名

財務部からのお知らせ

一般社団法人神奈川県作業療法士会では来年度より会費納入方法を「銀行口座からの引落し」へ変更することになりました（2012年7月の理事会承認済み）。

会費徴収にかかる経費削減（年間約40万円以上の削減）、活動費の早期確保により安定的な運営を提供することが目的です。

前回のニュースに同封した「口座振替のご案内」を平成24年12月末日までにご返送ください。

<問合せ先>

一般社団法人神奈川県作業療法士会 事務局
TEL：045-663-5997（平日10:00～15:00）
E-mail：osaifu@kana-ot.jp（財務部）

理事会 報告

平成24年度 第3回 一般社団法人 神奈川県作業療法士会理事会 抄録

日時：平成24年9月13日(木)19:00~22:20

場所：神奈川県作業療法士会事務所

出席理事：錠内、浅井、奥原、木村、小峰、作田、鈴木、富山、中西、原、福留、三浦、澤口

委任理事：渡邊、佐藤、机、野々垣 委任監事：清宮、長谷川

その他：松本（広報部ニュース班）、沼田（福祉用具委員会）、中尾・金山（事務局書記）

●事務局（澤口事務局長）

1) 渉外関連

①神奈川県病院医療関係団体連絡協議会（12団体）の開催準備
・日時：H24/ 9/26 15時～ 出席：三役にて対応予定

②神奈川県介護福祉士会設立20周年及び公益社団法人化記念式典出席予定（渡邊）/日時：H24/10/26 18:00~20:40
・20周年記念誌への挨拶文提出済み（渡邊）

③神奈川県栄養士会設立40周年記念式典・祝賀会
・H24/11/16 式典16時～ 祝賀会17:30～ 出席予定（渡邊）

④かながわ住まいまちづくり協会 バリアフリーリフォーム審査委員会

・第1回審査9/11 第2回審査9/25 出席：渡邊

⑤神奈川県リハビリテーション協議会「連携指針検討部会」

・H24/ 8/23 出席：渡邊代理で木村理事

⑥神奈川県看護協会より「准看護師養成停止を求める嘆願書」の署名協力依頼について:各理事への個人依頼と8/26に行われた福祉用具委員会主催研修会で署名を呼びかけ、集まった分を期日までに県看護協会へ返送した。

⑦平成24年度神奈川県保健衛生表彰候補者の推薦依頼（県保健福祉局保健医療部医療課調整グループ）
・対象条件を勘案し功績から歴代県士会役員より田中節子先生（横浜YMCA学院専門学校）を推薦（本人も受託）。現在、県にて選考中。表彰式は11/14 14時～（県総合医療会館）

2) 後援名義使用依頼→すべて承認

①青森ピンクリボンプロジェクト

神奈川県「横浜乳がん学校」の協力を得て青森県医療従事者の乳がん知識向上を目指し、乳がんにおけるチーム医療の活性化を図るとともに、市民の乳がん啓発イベントを開催予定。
日時：H24/10/20(土)、21(日)

場所：青森市民病院

*医療専門職連合会を通じ依頼あり。

②第17回医療・健康フェスティバル（神奈川県保険医協会）

日時：H24/10/ 8（祝・月）13時～16時

場所：新都市プラザ内容：からだと病気の相談コーナー、血糖測定、口腔内チェックなど

3) OT協会関連

①平成24年度厚生労働省老人保健健康増進等事業実施におけるご協力をお願い（依頼）→理事MLにて周知

②第16回WFOT2014周知依頼

広報・プレゼンテーション用の資料をPPT版とPDF版にて受理。県士会主催研修会等での視聴を依頼。

③都道府県OT士会連絡協議会関東甲信越支部会主催「リーダー研修会」の開催について

日程：H24/11/ 3（祝土）・4(日)

場所：燕労災病院 研修会参加費：無料（旅費、宿泊費は各県士会負担）締切：9/28 →三役より事務局長が出席、他出席を当該の事務局より選任することになった。

4) 庶務関連

①賛助会員B：入会1団体あり。学校法人昭和大学 昭和大学保健医療学部 様。

②WFOT2014事務局より「横浜市後援名義」申請同行依頼。窓口は横浜市健康福祉局→9/26澤口事務局長が同行する予定でWFOT2014事務局に確認中。

5) 部員の承認：1名：南條玲子（上白根病院）⇒承認

6) 役員人事について

佐藤副会長が諸般の事情にて10月末で退会される。規約委員会（鈴木理事）に確認。その中で、理事は正会員からなること、退会後も後任が見つからないといったやむを得ない事情がない場合は、現理事の中から兼任するのが望ましいことが確認される。⇒次回理事会にて提案する。

●財務部（野々垣理事）

1) 会費未納者に対する振込用紙発送について

7月末日までに入金の確認できなかった会員213名に対し、

8/21にコンビニ決済振込用紙を郵送。9月以降については郵便振替の案内に切り替える。

2) 銀行口座引き落としについて

リコーリース(株)と8/7に契約を締結。銀行口座引き落としに必要となる書類を、9月末の県士会ニュースに同封する。書類回収期限は平成24年12月末。⇒この件について会員に対し説明が不十分ではないか。⇒HP上で告知・周知する。

●学部（福留理事）

1) 分野別講習会の開催予定の報告があった。（新規のみ報告：同封ニュースチラシ参照）（身体/精神）

2) 研究助成事業

①演題名『ALS患者の自立支援用具、生活の工夫状況調査と生活ガイドブック作成の試み』研究代表者：磯朋代（北里大学東病院）

②演題名『単身生活可否の判断について—作業療法士の経験に基づくチェックリストの作成』研究代表者：福嶋祐子先生（汐田総合病院）

⇒現在、両課題とも修正と確認を行なっている。問題がなければ9月中には内定の通知を出す予定。

<審議事項>

・専門作業療法士の講師料の確認について

平成23年度総会で承認された講師規定はあるが、現在は平成22年度の講師規定で運用中。講師基準Aで対応することを確認。

●教育部（奥原理事）

現職者選択研修の開催予定の報告があった。（同封ニュースチラシ参照）

（身体/急性期/老年期など）

●広報部（小峰理事）

1) 対外広報活動報告

①新宿セミナー：7/19日(木)15:30~医療系養成校の入試ガイダンスにブース出展。作業療法についての相談コーナーを実施し、対外広報班3名で活動した。NsやPTと志望職を悩んでいる学生・保護者計6名に作業療法を紹介・質問対応とパンフレットを配布。

②ヨコハマヒューマンテックノランド（YOTEC）：7/27日(金)28日(土)相談会・パンフレット配布・作業活動体験を実施し、対外広報班6名・ニュース編集班1名で活動。パンフ200セット、販促グッズ・革細工など150セット配布。

③高校生・教員向け企画「作業療法ガイダンス」：8/21 10時～

臨床での作業療法の仕事紹介・養成校での勉強内容の紹介・相談コーナー・学校パンフレット配布を実施し、対外広報班5名・北里大学教員1名で活動した。参加者14名（高校生9・社会人1・保護者2・教員2）で、「初めて聞く内容だった」「よかったです」「希望すれば学校にも説明に来てもらえるのか」「オープンキャンパス前に聞きたかった」など、好評価をいただいた。また開催時期など、次年度以降検討する課題点もあった。

④OTキャンペーン活動報告（主催：OT協会 広報部）

H24/ 8/19(日)10:00~16:00 会場：イオン本牧店 派遣：2名（小峰・酒井）ポスターや養成校のオープンキャンパスで紹介された来訪した進学希望者7名、その他は親子連れ（小学生以下）が多かった。今年度にてOTキャンペーンは終了。次年度、協会広報企画は未定。

⑤ラジオ出演企画

H24/ 9/13(木)10:00~10:20 ラジオ日本すこやか介護のコーナーに「介護と腰痛予防について」というテーマで実施。

※紙面の都合で一部割愛・詳細は県士会Webへ（文責：澤口）



求人

作業療法士オープニングスタッフ募集

平成26年5月、川崎市に初めて認知症疾患専門病院をオープン致します。認知症専門病院として介護や福祉と連携し、早期復帰を目指した全国に誇れる新しい病院と一緒に創っていきませんか。

施設概要 病床数300床（全認知症専門病床）
認知症デイ・ケア

募集人員 常勤 10名（オープニングスタッフ）

給与 当院規定により優遇致します。
昇給年1回 賞与年2回

勤務時間 8：30～17：30 土曜 8：30～12：30 ※予定

休日 日・祝・土（午後）、1週40時間内による
病院指定休、年末年始等

応募方法 電話連絡の上、履歴書（写真貼付）、免許証（写）
を下記準備室まで郵送ください。

アクセス 東急田園都市線たまプラーザ駅、溝の口駅
小田急線柿生駅、新百合ヶ丘駅等からバス
バス停より徒歩1分
※田園都市線あざみの駅より職員送迎バス予定

担当者 開設準備室事務長 国井弘善
〒222-0011 横浜市港北区菊名4-3-11
横浜メディカルグループ本部
電話 045 (430) 5445
FAX 045 (401) 2640
E-Mail kunii@ymg.gr.jp

医療法人花咲会 **かわさき記念病院**

建設地 神奈川県川崎市宮前区潮見台2441-1（地番）



求人

作業療法士募集

当クリニックは、利用者の主体性を尊重しリハビリテーションに特化したクリニックです。

状態に合わせて頻度など対応し訪問理学・作業療法を通して、利用者が地域で主体的に活動できる支援を目指しています。

募集人員：1名（臨床経験者）

待遇：非常勤職員

給与：クリニック規定による

勤務時間：月～金 8：30～17：30（※頻度、時間は相談
に応じます）

休日：土・日・祭日 年末年始

応募方法：電話連絡の上、面接（履歴書、免許証の写し持参）

*電話は17：30以降にご連絡ください。

三軒茶屋リハビリテーションクリニック

院長 長谷川 幹

〒154-0002 世田谷区下馬2-20-11 小畑ビル101

TEL：03-5787-6110 FAX：03-5787-8120

担当：中島



求人

作業療法士募集

西湘の小児リハを共に盛り上げていきましょう！
創立11年の施設。まだまだ開拓の余地あります。

募集人数 常勤 1名

募集内容 重症心身障害児（者）か発達障害分野の経験者を望みます。

施設概要 重症心身障害児（者）施設 52床
外来リハ（主に学齢児のリハビリテーション）

給与 当法人規定により優遇します。

勤務時間 8：30～17：30

休日休暇 4週8休（1週40時間）※日曜固定休

応募方法 電話連絡の上、履歴書を持参又は下記宛に郵送してください。

交通 小田原駅より箱根登山鉄道（7分乗車）
「風祭駅」から徒歩10分

社会福祉法人 風祭の森 重症心身障害児（者）施設
「太陽の門福祉医療センター」

〒250-0032 神奈川県小田原市風祭563

電話（代表）0465（24）6561

メール：toshisuzu202co@kazamatsurinomori.or.jp

担当者 事務課長 鈴木



求人

作業療法士 募集

募集人員：若干名

就労期間：即日～平成25年3月31日

応募資格：作業療法士免許を有する方

待遇：非常勤職員としての雇用です

給与：本市規定による 1864円/時給

手当：交通費相当分支給

勤務時間：8時30分～17時15分

※頻度・時間等は相談に応じます

休日：4週8休制（土曜・日曜勤務有り）

応募方法：電話連絡の上、面接をいたします。

履歴書・免許証の写しをご持参ください。

※まずはお気軽にお問い合わせ下さい

問い合わせ先

横浜市立脳血管医療センター

〒235-0012 横浜市磯子区滝頭1-2-1

TEL 045-753-2791（直通） FAX 045-753-2905

リハビリテーション部 遠藤まで

Eメール：by-ysbckanrika@city.yokohama.jp

http://www.city.yokohama.lg.jp/byoin/nou/



求人

作業療法士募集

当院は地域密着型のリハビリテーションを目指しています。古都鎌倉で一緒に働きませんか。
(鎌倉駅下車徒歩7分)

- 施設概要** ・病院（一般病棟・慢性期病棟 計198床）
・病院併設老人保健施設あり
- 募集人員** 病院常勤1名
- 業務内容** 一般病院の入院患者様・外来患者様へのリハビリ業務。訪問経験者歓迎。
- 待遇** 当院規定により優遇。経験年数加算。昇給年1回。賞与年2回。
- 勤務時間** 8:30~17:00 土曜日8:30~12:30
- 休日** 4週6休、有給休暇、年末年始、特別休暇等
- その他** 学会・研修会出張奨励
老健・病院リハスタッフ合同の定期的勉強会あり
- 応募方法** 随時電話連絡の上、履歴書郵送願います
- 担当者** リハビリテーション科 藤原加津朗

医療法人養生院
清川病院

〒248-0006

神奈川県鎌倉市小町2-13-7 0467-24-0015

URL <http://www.kiyokawa-hp.or.jp/>

Eメール reha-kiyokawa@kamakuranet.ne.jp



研修会

作業療法地域連携会

@sagamihara -第8回研修会-

- 主催** 作業療法地域連携会@sagamihara
- 日時** 平成24年11月30日(金)
18:30~20:30 [受付18:00より]
- 場所** 北里大学医療衛生学部A3号館3階 33講義室
- 内容** 1. 教育講演『臨床実習教育について~part1』
講師：東京福祉専門学校 講師 佐々木 千寿 (OTR) 先生
2. 特別講演『がんの作業療法』
講師：静岡県立静岡がんセンター 田尻 寿子 (OTR) 先生
- 対象** 作業療法士および関連職種
- 参加費** 1000円
- 定員** 100名
- 申込み方法** 事務局メールアドレスに下記事項をご連絡ください。
タイトル：第8回研修会参加申し込み
1. 氏名 (フリガナ)
2. 所属先
3. 職種
4. 経験年数
5. 懇親会参加・不参加
事務局アドレス：sagamiharatmrk@yahoo.co.jp
- 申込み締切** 平成24年11月29日18:00まで
- 生涯教育ポイント** 生涯教育基礎1ポイント対象
- 備考** お車でのご越しの方は、北里大学駐車場に駐車をお願い致します。
(北里大学病院駐車場ではございませんのでご注意ください)
駐車場入口の守衛室でお手続きをしてください。駐車券は研修会後にお渡し致します。
(お車でのご越しの方はお申し込みの際にご連絡いただくと幸いです)

問い合わせ

事務局：さがみリハビリテーション病院 佐藤 隼
042-773-3211
sagamiharatmrk@yahoo.co.jp



研修会

第37回日本リハビリテーション工学協会 車いすSIG講習会 in 那覇

- 日程**：2013年1月12日(土)~13日(日)
- 主催**：日本リハビリテーション工学協会 車いすSIG
- 共催**：一般社団法人日本車いすシーティング協会
- 会場**：沖縄産業支援センター
〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄1831-1
<http://www.okinawa-sangyoushien.co.jp/>
- 定員**：120名 (先着順)
- 参加費**：12,000円・14,000円・16,000円・20,000円
(加盟団体等により異なります)
- 内容**：詳細は10月下旬頃HPに掲載予定です
車椅子の基礎
①生活と車椅子
②身体寸法計測と車椅子寸法
③車椅子基本機能と構造との関係
④車椅子クッションの基礎と選択
⑤電動車椅子の種類と活用のすすめ
⑥高齢者・片まひ者の車椅子適合の考え方と工夫
⑦アクティブ・バランス・シーティングの考え方
- ※一般社団法人日本作業療法士協会「生涯教育制度」基礎ポイント対象研修会 (予定)
- 申込締切**：2012年12月3日(月)

車いすSIG講習会事務局

〒235-0033 神奈川県横浜市磯子区杉田2-7-20

担当：深野栄子

TEL. 045-352-8165 FAX. 045-352-8166

<http://www.wheelchair-sig.jp>



研修会

2012年度神奈川県活動分析研究大会1st

- 主催** 神奈川県活動分析研究会
- 日時** 2013年2月11日(月)9:30~15:30 (9:00~受付開始)
- 場所** 横浜市立大学附属病院 10階 臨床講堂
(シーサイドライン「市大医学部」駅下車 徒歩1分)
アクセス：<http://www.fukuohp.yokohama-cu.ac.jp/affic.html>
- ※公共交通機関をご利用下さい。駐車スペースは患者様専用です。
- 内容** テーマ「Activity」
演題発表(症例検討及びワンポイント実技)
講演 松田 哲也(湯河原厚生年金病院 作業療法士)
- 対象** 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士(県内・県外を問いません)
- 参加費** 1500円
- 定員** 100名程度(先着順)※定員に達し次第締め切ります。
- 申込み方法** 神奈川県活動分析研究会ホームページにてお申し込みください。
<http://sites.google.com/site/kakatsubun/>
- 申込み締切** 申し込み期間
2012年12月3日(月)~2013年1月25日(金)
- 生涯教育ポイント** 1ポイント
- 備考** その他、詳細はホームページにて後日掲載致します

問い合わせ

新横浜リハビリテーション病院 リハビリテーション科
神奈川県活動分析研究会1st事務局 石田 耕一
TEL(代表) 045-474-5511 : (17:00以降)
E-mail: activity_2012@yahoo.co.jp

連載

青年海外協力隊体験記

～大草原の小さな私～

第11回 モンゴル国立外傷センター活動報告

青年海外協力隊 平成23年度2次隊 川島由貴子

●執筆者プロフィール
川島(旧姓 堤)由貴子

大学卒業後一旦就職するも、退職。その後、作業療法士資格を取得し、都内の病院へ3年間勤務する。平成23年3月退職し、7月から約2カ月の訓練を経て、9月より協力隊員としてモンゴルに赴任。国立外傷センターにて活動中。

青年海外協力隊の任期は原則2年である。平成24年9月現在、私は赴任してから一年が過ぎたところである。いわば、節目だ。そのため今回は、メインとなる国立外傷センターでの活動を振り返りながら活動報告と今後の方向性について話をしたい。

◆国立外傷センターでの活動

私が活動する外傷センターは、外傷系の患者さんが全国から集まってくる。首都に住んでいる患者さんはもちろん、地方の病院ではどうにもできないような、手術が必要な患者さんや、田舎で受傷して治療をしたが、その後のリハビリが不十分であり、リハビリを求めて来院したという人もたくさんいる。とにかく、ありとあらゆる患者さんが来る。年間の総患者数は約8000名。その中から医師が診察して、リハビリが必要と考えた人に対して、リハビリ科の医師へリハビリを依頼する。そうすると、リハビリスタッフが指名されて、リハビリ開始となる。頭部外傷や脊髄損傷の受傷後やそれらの手術後、また、骨折や腱・神経損傷等の手術後へのリハビリ処方も多い。それ以外にも、軟部組織損傷と思われる疼痛を抱える診断名がはっきりしない患者さんも多い。病院にMRIを始め、検査機器が不足していたり、術後しばらく経っていても一度も画像診断をせず、状態がはっきりしないまま処方が出ることも多々ある。その為、可能な限り、検査を要請したり自分でもできる限りの評価をすることが必要だ。

リハビリ科には、物理療法室や私が働く運動療法室があり、現在、運動療法室に所属するスタッフはPTが1名、リハビリについてのコースを受講したことがある看護師が2名、そして、JICAボランティアのPTが1名、OTが1名(OTは私のみ)である。彼らと共働しながら技術移転を日々行っている。特にこの国には、PTの資格はあるが、OTは無い。だからこそ、OTとはどういうものかということ、技術だけでなく概念も含めて伝えるようにしている。また、当センターには医学生教育機能や研究機能もある。現在、学生には、運動療法の必要性を実例を交えて伝えている。

◆国立外傷センター内活動における今後の方向性

・リハビリ科スタッフとの共働による、評価～プロ

ラム実施：一連の技術移転は、今後も継続して実施する。現在でも、患者と一緒に担当し、直接指導した内容はその後のリハビリ時に反映されていることが多く、効果が認められる。

- ・**勉強会を開始**：日々の業務では伝えにくいことについては、勉強会にてフォローしたい。以前は、スタッフ数が少なかったため患者の治療に追われたり、またスタッフが定着しないこともあって実施が困難だった。しかし、現在スタッフの数が少し増え、さらに定着してきたこと、また、就業時間が伸びたことで時間を取りやすくなったと思う。自分のモンゴル語の能力が向上してきたこともあり、実施環境が整った。
- ・**ホームプログラムの作成とスタッフとの共働によるプログラムの実施**：当センターでは、平均リハビリ日数が約7日程度と短く、自宅へ帰った後のリハビリが非常に重要となる。現在、患者にリハビリ期間中から、自宅でのプログラムの指導を口頭で実施しているが、運動プログラムの資料を作成することで、患者がプログラムに対して理解を深めたり、誤って実施するリスクを防ぐことができる。また、スタッフの理解も深まり、今後の継続的な実施も期待できると考えられる。

◆一年経って、モンゴルに一言！

モンゴルなんて、モンゴルなんて、と、つい最近までそう思っていたはずだったんだけど、一年経った今、モンゴルが好きでたまりません。

次回は、外傷センター外での活動報告を予定しています。

青年海外協力隊

JICAボランティア事業は日本政府のODA予算により、独立行政法人国際協力機構(JICA)が実施する事業です。開発途上国からの要請に基づき、それに見合った技術・知識・経験を持ち、「開発途上国の人々のために生かしたい」と望む方を募集し、選考、訓練を経て派遣します。その主な目的は、(1)開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与、(2)友好親善・相互理解の深化、(3)ボランティア経験の社会還元です。(以上、JICAホームページより抜粋)

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース < 158号 > 2012年11月発行(年6回発行)

発行責任者 渡邊慎一

編集責任者 小峰一宏

編集担当 松本政悦・菊地美帆・千葉友浩・矢野竜也・川島由貴子・本間嗣崇

印刷 発送 第一資料印刷株式会社

事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町4-45 第一国際ビル301号 TEL/FAX: 045-663-5997
月火水木金 10:00～16:00 メールアドレス: jimukana-ot.jp一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト <http://kana-ot.jp>

作業療法 神奈川県

掲載